

大分県長期漁海況予報

〔平成 24(2012)年 9 月～12 月までの海水温・漁模様の見通し〕



大分県農林水産研究指導センター水産研究部

879-2602 大分県佐伯市上浦大字津井浦 194-6

Phone0972-32-2155 Fax.0972-32-2156 <http://www.mfs.pref.oita.jp>

海況経過<平成 24 年 4～8 月>

■黒潮

都井岬では4月は小蛇行が存在し、「かなり離岸」となり、5月から8月初旬までは「やや離岸」で推移しました。その後は「かなり離岸」で推移しています。

■水温

豊後水道の水温(0～75m層)は、4月～5月は「平年並み」、6月～7月は「やや高め」になり、8月は「平年並み」で推移しました。(図2)。

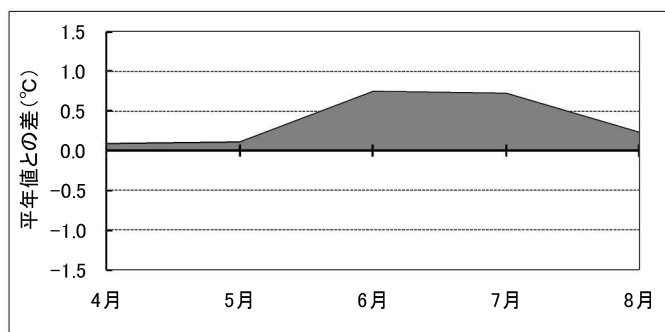


図2 豊後水道における水温の平年値との差(0～75m層の平均値)

■塩分

豊後水道の塩分(0～75m層)は、4月～5月は「やや低め」、6月は「きわめて低め」、7月～8月は「低め」で推移しました。(図3)。

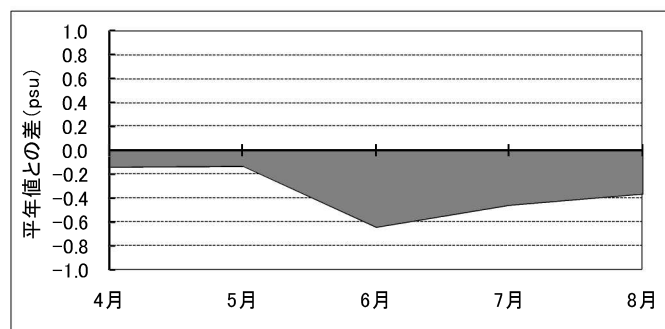


図3 豊後水道における塩分の平年値との差(0～75m層の平均値)

今後の海況の見通し＜平成 24 年 9～12 月＞

■黒潮

都井岬沖では、9月、10月、12月には小蛇行の一部が東進し、一時的に接岸となるでしょう。足摺岬沖では、概ね接岸傾向だと思われませんが、都井岬沖からの小蛇行が東進するのに伴い、9月、10月、12月には、一時的に離岸するでしょう。

■沿岸水温

「平年並み」～「高め」で推移するでしょう。

■予測の説明と根拠

- ・黒潮流路予測は平成 24 年度第 1 回太平洋いわし類・マアジ・さば類等長期漁海況予報(中央水産研究所及び関係府県:2012)を参考にしました。
- ・沿岸水温は気温の影響を強く受けると考えられるため、福岡管区気象台の「九州北部地方3ヶ月予報」では、9～11月の平均気温は「平年並み40%、高め40%」と予測していることから、そのように予測しました。

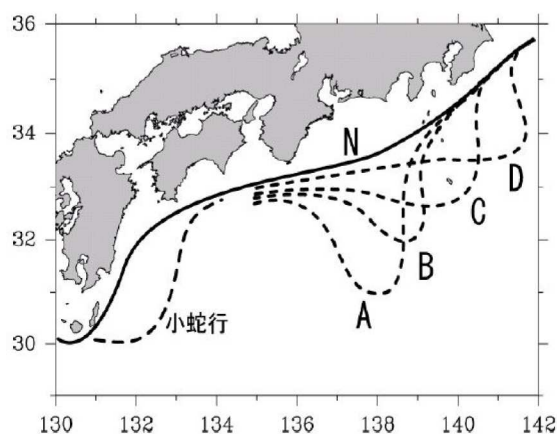


図 4 黒潮流型の分類

※上図は平成 24 年度第 1 回太平洋いわし類・マアジ・さば類等長期漁海況予報(水産庁プレスリリース資料)より引用

■マイワシ

2012年4～7月の漁況経過

2012年4～7月における豊後水道南部主要3港(鶴見、米水津、蒲江)のまき網によるマイワシの漁獲量は、4月には漁獲はなく、5月に24トン、6月に13トン、7月には6トンの計43トンでした。前年比5%、(用語解説①) 1%と、前年・平年を大きく下回る漁となりました。

漁獲の主体は、6月は佐伯湾・豊後水道で被鱗体長(用語解説②) 12～14cm前後の0歳魚(2012年生まれ)、7月は豊後水道で12～15cm前後の0歳魚(2012年生まれ)でした。

なお、(用語解説④) 近隣海域では高知県(宿毛湾)のみ豊漁となっています(2012年4～6月)。

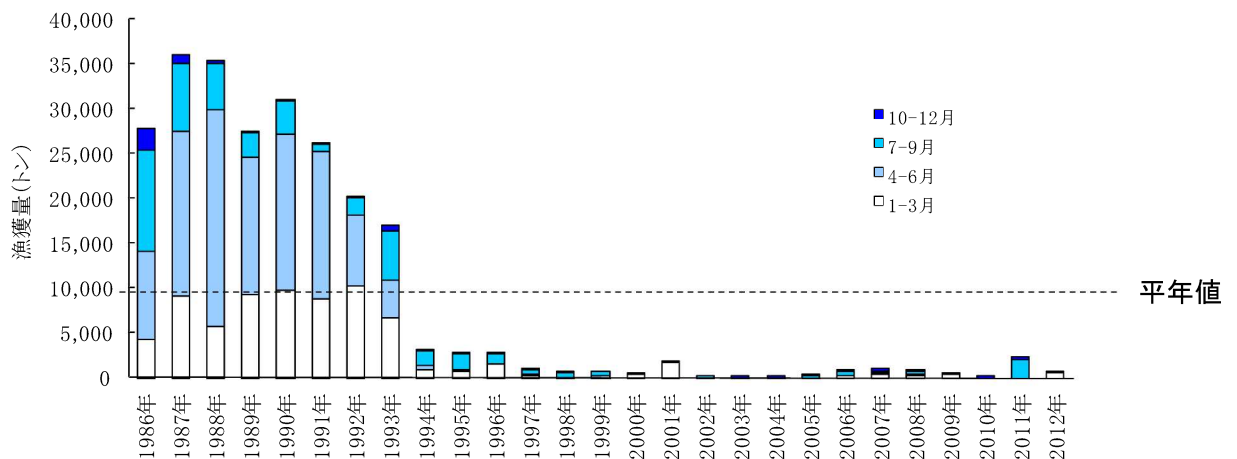


図5 マイワシのまき網における漁獲量(鶴見・米水津・蒲江支店)

今後の見通し<平成24年9～12月>

来遊水準:

豊後水道への来遊量は、前年を下回るでしょう。



漁獲対象年級群及び体長:

9～12月は被鱗体長12cm～18cm前後の0歳魚(2012年生まれ)漁獲の主体となるでしょう。

【説明】

予測期間中の漁獲主体となる0歳魚(2012年生まれ)の資源水準は、2012年1～3月の日向灘～紀伊水道海域(大海区Ⅲ)におけるマイワシの産卵量が前年を上回ったことから(前年比115%)、前年より高いものと期待され、2012年4～6月宿毛湾の中型まき網の漁獲量は0歳魚が主体となり、前年を上回りました(前年比212%)。

しかし、本県においては0歳魚が主体となる4～7月のまき網の漁獲量が前年を大きく下回っていたことから、豊後水道への来遊はほとんどなかったと考えられ、今後も期待できないと思われます。

そのため、豊後水道への来遊量は、前年を下回るでしょう。

■カタクチイワシ(成魚)

□2012年4～7月の漁況経過

2012年4～7月における豊後水道南部主要3港(鶴見、米水津、蒲江)のまき網によるカタクチイワシの漁獲量は、4月に11トン、5月に40トン、6月に429トン、7月に739トンの計1,220トンでした。前年比120%、平年比108%と、前年・平年を上回る漁となりました。

漁獲の主体は、6月は佐伯湾で被鱗体長8～11cm前後の1歳魚(2011年生まれ)、7月は佐伯湾で8cm以下の0歳魚(2012年生まれ)、豊後水道で10～12cm前後の1歳魚(2011年生まれ)でした。

なお、近隣海域でも豊漁となっています(2012年4～6月)。

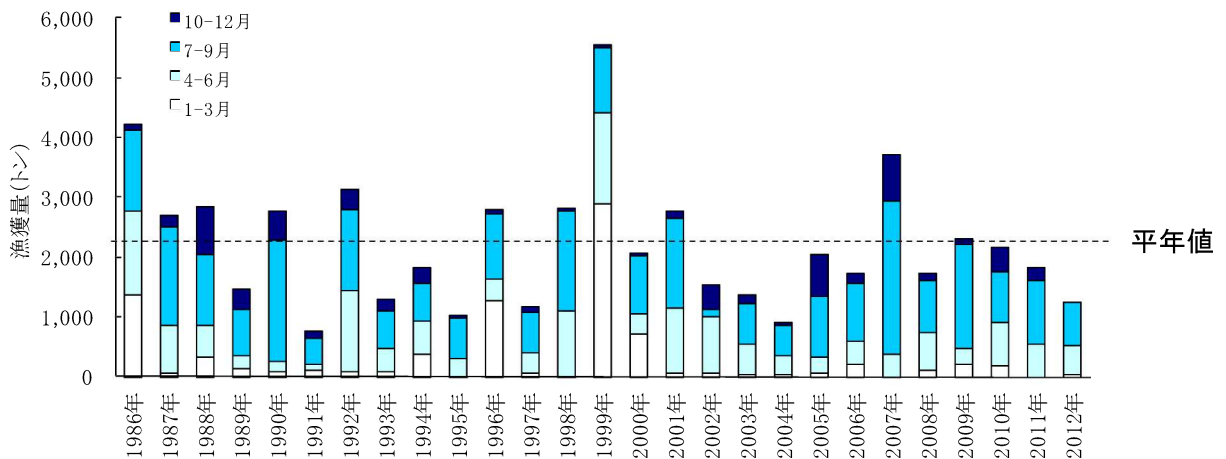


図6 カタクチイワシのまき網における漁獲量(鶴見・米水津・蒲江支店)

今後の見通し<平成24年9～12月>

来遊水準:

豊後水道への来遊量は、前年並みでしょう。



漁獲対象年級群及び体長:

9月は0歳魚(2012年生まれ)と1歳魚(2011年生まれ)が混じり、10～12月は被鱗体長4～9cmの0歳魚(2012年生まれ)が主体となるでしょう。

【説明】

予測期間中の漁獲主体となる0歳魚(2012年生まれ)の資源水準は、2012年1～3月の北薩～豊後水道におけるカタクチイワシの産卵量が前年を上回っており(前年比132%)、豊後水道における2012年1～7月のシラス漁が前年を上回っていることから(前年比134%)、その資源水準は、前年を上回ると考えられます。

しかし、1歳魚(2011年生まれ)の資源水準は、昨年10月以降の漁況からみて、低調だと判断されます。

そのため、豊後水道への来遊量は、前年並みでしょう。

■ウルメイワシ

□2012年4～7月の漁況経過

2012年4～7月における豊後水道南部主要3港(鶴見、米水津、蒲江)のまき網によるウルメイワシの漁獲量は、4月に7トン、5月に83トン、6月に416トン、7月に1,939トンの計2,445トンでした。前年比310%、平年比653%と、前年・平年を大きく上回る漁となりました。

漁獲の主体は、6月は佐伯湾では被鱗体長9～11cm前後の0歳魚(2012年生まれ)、豊後水道では被鱗体長11～13cm前後の0歳魚(2012年生まれ)、7月は佐伯湾では7～8cm前後の0歳魚(2012年生まれ)、豊後水道では11～14cm前後の0歳魚(2012年生まれ)でした。

なお、近隣海域では不漁となっています(2012年4～6月)。

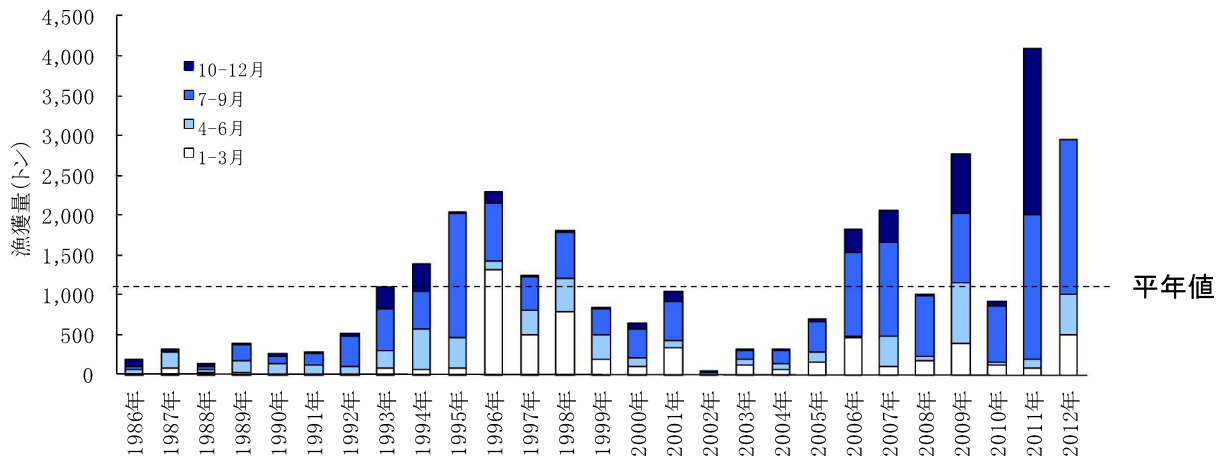


図7 ウルメイワシのまき網における漁獲量 (鶴見・米水津・蒲江支店)

今後の見通し<平成24年9～12月>

来遊水準:

豊後水道への来遊量は、前年並みか前年を上回るでしょう。



漁獲対象年級群及び体長:

9～12月は被鱗体長7～17cmの0歳魚(2012年生まれ)が漁獲の主体となるでしょう。

【説明】

予測期間中の漁獲の主体となる0歳魚(2012年生まれ)の資源水準は、本県における4～7月の漁獲量(0歳魚主体)が前年を大きく上回ったことから、前年を上回ると考えられますが、前年が1986年から過去最高の漁獲であったことを考慮し、来遊量は前年並みか前年を上回るとします。

■マアジ

□2012年4～7月の漁況経過

2012年4～7月における豊後水道南部主要3港(鶴見、米水津、蒲江)のまき網によるマアジの漁獲量は、4月に78トン、5月に77トン、6月に28トン、7月に13トンの計196トンでした。前年比119%、平年比21%と、前年を上回り、平年を下回る漁となりました。

漁獲の主体は、6月は佐伯湾で尾叉長^(用語解説⑤)16～19cm前後の1歳魚(2011年生まれ)でした。

なお、愛媛県は前年・平年を下回る漁、高知県は前年を上回り、平年を下回る漁となっています(2012年4～6月)。

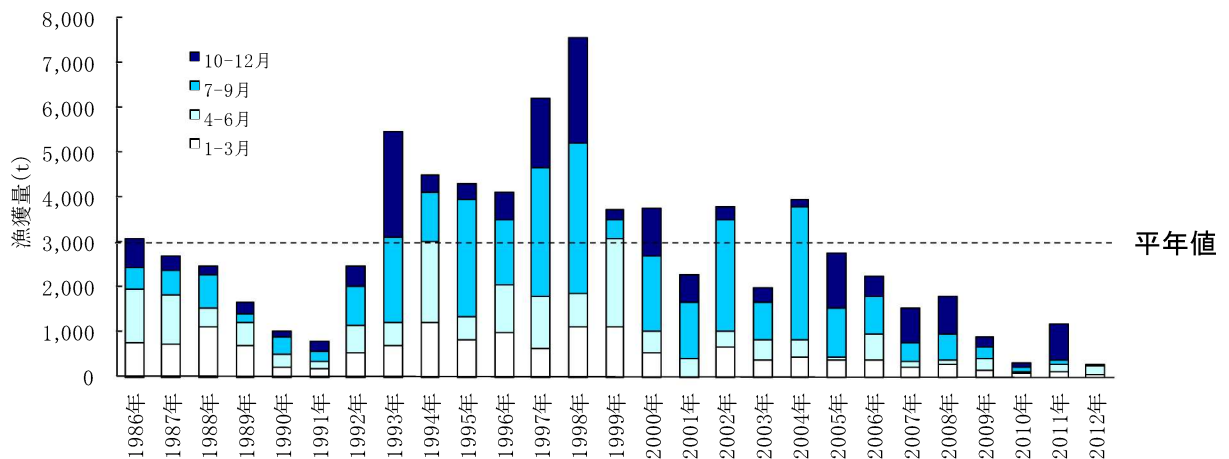


図8 マアジのまき網における漁獲量(鶴見・米水津・蒲江支店)

今後の見通し<平成24年9～12月>

来遊水準:

豊後水道への来遊量は、前年並みでしょう。



漁獲対象年級群及び体長:

尾叉長8～18cmの0歳魚(2012年生まれ)が漁獲の主体で、1歳魚以上が混じるでしょう。

【説明】

予測期間中の漁獲の主体となる0歳魚(2012年生まれ)の資源水準は、0歳魚が入網の主体となる県南(鶴見・米水津・蒲江)の定置網の4月から7月のコアジ・マメアジの漁獲量が前年を上回りましたが(前年比123%)、マアジ太平洋系群において、資源水準の指標として考えられている2012年4月～6月の日向灘南部定置網への0歳魚入網量(宮崎県水産試験場)が前年並みであったことから、全体的には高くはないと考えられます。

そのため、豊後水道への来遊量は、前年並みでしょう。

■さば類

□2012年4～7月の漁況経過

2012年4～7月における豊後水道南部主要3港(鶴見、米水津、蒲江)のまき網によるさば類の漁獲量は、4月に390トン、5月に646トン、6月に29トン、7月に21トンの計1,086トンでした。前年比83%、平年比58%と、前年・平年を下回る漁となりました。

漁獲の主体は、6月は佐伯湾では尾叉長15～19cm前後の0歳魚(2012年生まれ)、豊後水道では17～18cm前後の0歳魚(2012年生まれ)、7月は豊後水道で20～23cm前後の0歳魚(2012年生まれ)でした。

また、種類は、6月は佐伯湾ではゴマサバの割合が96%とマサバの割合が4%、豊後水道ではゴマサバの割合が88%とマサバの割合が12%であり、7月は豊後水道でゴマサバの割合が99%とマサバの割合が1%でした。

なお、愛媛県ではゴマサバ主体に前年・平年を上回る好漁。高知県(宿毛湾)では、ゴマサバ主体に前年・平年並みの漁でした。

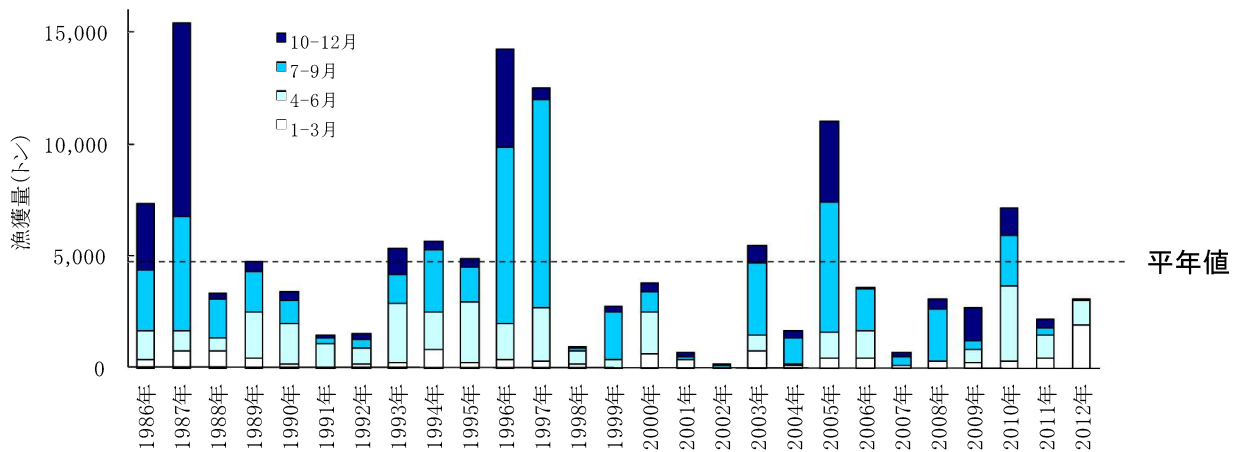


図9 さば類(マサバ・ゴマサバ)のまき網における漁獲量(鶴見・米水津・蒲江支店)

今後の見通し<平成24年9～12月>

来遊水準:

豊後水道への来遊量は、ゴマサバ主体に不漁だった前年並みでしょう。



漁獲対象年級群及び体長:

尾叉長30cm前後のゴマサバの1歳魚(2011年生まれ)が漁獲の主体となり、2歳魚以上(2010年生まれ以降)は混じる程度でしょう。

【説明】

予測期間中の漁獲主体は現在までの漁獲状況からゴマサバ主体であると考えられます。

ゴマサバの1歳魚(2011年生まれ)の資源水準は、中央水産研究所によれば推定加入尾数が8億尾であり、近年の平均程度と推定されていますが、前年の1歳魚(2010年生まれ)の推定加入尾数よりは少ない数値となっています。

そのため、豊後水道への来遊量は、ゴマサバ主体に不漁だった前年並みでしょう。

その他

■ 予測の根拠および参考資料

・平成24年度第1回太平洋いわし類・マアジ・さば類等長期漁海況予報(中央水産研究所及び関係府県:2012)

■ 用語解説

- ① 平年比 : 1986～2011年までの比
- ② 被鱗体長 : 体の前端から、尾柄の鱗で覆われている部分の後端までの直線距離。
- ③ モード : 度数の最も多い数値、階級値。
- ④ 近隣海域 : ここでは、3県(宮崎県・愛媛県・高知県)の海域とする。
- ⑤ 尾叉長 : 体の前端から、尾びれの湾入部内縁中央(くびれている部分)までの直線距離。

■ 問い合わせ先

この予報に関する問い合わせ先は、大分県農林水産研究指導センター水産研究部 栽培資源チームまで。

〒879-2602 大分県佐伯市上浦大字津井浦194-6

電話:0972-32-2155

FAX:0972-32-2156